

孫娘の絵

山川 陽子

海の日を制定を記念して全国を地域に分けて「海の絵画コンクール」が行われています。1枚目、日の出に向かって「いざ!!」、2枚目、岩の合間の先を通り過ぎようとする船「瞬くまに通り過ぎる世界」、この2枚の絵は私達の孫娘が数年前に地元の中学校の美術部で、顧問の先生の薫陶を受けて描いたものです。この他にも沢山の絵を描き、たびたび表彰をされてご褒美も頂きました。残念ながら提出された作品は帰ってはきませんでしたがこの2枚だけは、表彰作品を絵葉書にして下さる業者からの注文に応じて残す事ができました。当時は親バカみたいで気恥ずかしかったのですが、今回の文を書いて彼女への自信のプレゼントになりました。

主催(公社)関東海事広報協会 関東地区中学生海の絵画コンクール



第58回 銅賞



第59回 帆船日本丸賞

今年、高校3年の受験勉強真っ盛りの孫、勉強はなかなか上手いはず。これは過去の私にも思い当たる節があります。時間が足りない。自分は大学受験に役立つ勉強しているのかわからない、難問が解けない→自分は頭が悪い、反対に問題が解けた→狙っている学校にふさわしい問題ではないのか、見当違いの勉強をしているのではないか、という思考経路でとにかく自信がなかったのです。

この2枚の孫の絵を久しぶりに見て、当時の嬉しさ、色々な所に飾られて、家族皆で見に行ったり、彼女が考えた絵の題名に感心したり、上手だね、すごいねと、褒めまくっていた私達、周囲の反応に誇らしげにしていた孫を思い出しました。自己肯定感、幸せ感が生きる力を生むと言われています。再度思い出した、本人の未来への意気込みが、大学受験の不安を凌駕してほしいと願っています。